



「道の駅」・新時代到来!! ~地域創生に向けて 大学生のアイデアを「道の駅」に結集...

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

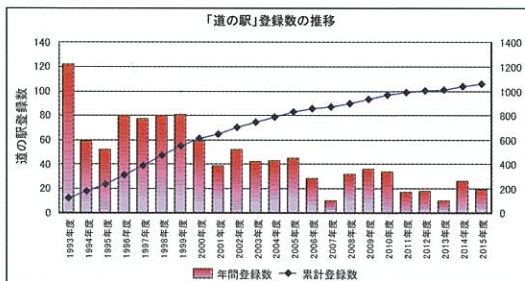
前号は「道の駅」の特集。続報として本号では、まち・ひと・しごと創生法に関連した「地方創生」と道の駅についてレポートします。

■地方創生拠点として期待される「道の駅」で何かがはじまる...

『道路に駅があってもよいのではないか』との提案から制度化された道の駅。1993年の第1回登録から年々登録が増加し、2015年5月現在、1059箇所の道の駅が登録されています(グラフ参照)。しかし、道の駅の全てが賑わっているかというそうではなく、魅力が陳腐化し来訪者の減少によって経営を逼迫している施設や、市町村合併によって一つの市で複数の道の駅を抱えることになっている地域もみられます。道の駅は、地域事情に応じて様々な問題点を抱えているのです。

また、「まち・ひと・しごと創生法」が公布され、地域個性やアイデアを活かして、地域の人材を育て仕事を増やし、地域やまちの活気を維持する取組みが始まりました。将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するためには、現場での就労体験を通して、実際の知識や技術を学ぶことが重要です。

そのようなことから、国土交通省では、地域の観光資源や魅力を語る人材が集まっている道の駅を核に、大学との連携によりインターンシップを実施するとともに、大学の学部・学科やゼミとタイアップして特産品のメニューや道の駅での着地型の旅行商品開発等に取組むこととなり、帝京大学でも、この夏に7人の学生が出身地域の道の駅で就労体験のインターンシップを体験するとともに、我々のゼミでは、群馬県甘楽町の道の駅「甘楽」と連携した取組みを展開することとなりました。



制度化からの道の駅の年間登録数と累計登録数

■全国モデル道の駅のひとつ枇杷倶楽部(道の駅とみうら)を訪問

道の駅「甘楽」での取り組みにあたって、「道の駅グランプリ2000」で最優秀賞を受賞し、全国6箇所のモデル道の駅のひとつでもある「道の駅とみうら枇杷倶楽部」について事例研究をしました。

店内には、「枇杷」に関連する商品が多くあります。これまで廃棄ロスが出ていた規格外の枇杷を活用し、40種類を超えるオリジナルの商品が開発されています。また、地域をひとつの博物館のように見立て、地域内にある観光資源や体験を結びつけて、ツアーとして売り出す「一括受注システム」の構築など、道の駅が、ハードとソフトの両面で、地域の中核的施設としてランド・オペレーターの役割を有していることに驚きました。



せつ々かなので、プレミアムの枇杷ソフトを食べてきました。

さらに、充実した情報発信をしていることが枇杷倶楽部の強みとなっています。イベント情報、周辺のスポット地図のみならず、南房総地域にある道の駅の紹介のページなど、利用者にとって利便性の高い内容なのです。通常のドライブや個人旅行だと自分で行き先を組み立て、どのような体験をするか、どこで食事を取るかなど考えなければなりません。枇杷倶楽部のHPでは、利用者の興味に応じた多彩なメニューが紹介されており、とても参考になります。



HPで紹介されているページ

■道の駅「甘楽」での連携企画事業

観光や集客施設において最も大切なのは顧客の声～私たち・大下ゼミ道の駅グループでは5月16日と17日、道の駅「甘楽」にてアンケートを実施しました。道の駅への来訪体験、フードコートや直売所の充実度、まち歩きを楽しむために必要なサービス、甘楽周辺で立ち寄ったことのある場所について答えていただきました。このアンケートのクロス集計やフリーアンサーの意見から提案企画を考えました。

まず売場改善という課題では、「なぜワインなの?」「なぜパスタをおいているの?」といった素朴な疑問から、観光案内所の向かえにコーナーをお借りし、そこで姉妹都市のイタリア・チェルタルド市との関係について発信できるコーナーづくりに取



お客様にアンケートにお答えいただきました

組むことにしました。そのコーナーでは、地元の野菜を並べ、その野菜を使った季節ごとのパスタレシピを置くことや、パスタに合うワインも紹介したいと考えています。テイクアウトメニューの開発では、お手軽な価格で食べ歩きができるピザサンドと、本学のイメージを伝えるラグビーボール型のおからドーナツを提案。また、快適回遊につながるプログラムでは、ファミリー向けにゲーム感覚で城下町・小幡を巡ってもらえるよう、まち歩きビンゴを考えています。

企画から実践へ。9月9日～11日のゼミ合宿のなかで、他のグループに協力してもらいながら企画した内容を実践します。少しでも道の駅「甘楽」の知名度の向上、来訪客の増加につながってほしいと考え、実践で得られた結果から改善をはかっていきたいと思ひます。続報に、乞うご期待を!! (木暮傑⇒Yamaneko⇒青木 彩・大澤亮介)